

## 海洋理工学会 2019 年度春季大会

会場： 東京海洋大学越中島キャンパス 85 周年記念会館（東京都江東区越中島 2-1-6）

日時： 令和元年 5 月 30 日（木） 31 日（金）

プログラム：

5 月 30 日（木） 10:50-17:00

シンポジウム「これからの海洋環境・保全・開発・教育」

10:50-11:00 趣旨説明 田中 祐志（東京海洋大学 海洋資源環境学部）

11:00-11:30 S1. 駿河トラフ、未知なる海と陸の境界に挑む  
鶴我 佳代子（東京海洋大学学術研究院 海洋資源エネルギー学部門）

11:30-12:00 S2. 世界の海で、日本発の化学センサをつかう  
下島 公紀（東京海洋大学学術研究院 海洋資源エネルギー学部門）

（12:00-13:15 昼休み）

13:15-13:45 S3. 表層型ガスハイドレート胚胎域における浸透圧式連続採水装置を用いた  
化学環境の長期モニタリング  
尾張 聡子（東京海洋大学学術研究院 海洋資源エネルギー学部門）

13:45-14:15 S4. ゼロエミッション水上交通システムの開発  
清水 悦郎（東京海洋大学学術研究院 海洋電子機械工学部門）

14:15-14:45 S5. 海洋生態系をモニタリングする AUV  
近藤 逸人（東京海洋大学学術研究院 海事システム工学部門）

14:45-15:15 S6. 海洋を対象とした地盤工学の教育と研究  
谷 和夫（東京海洋大学学術研究院 海洋資源エネルギー学部門）

（15:15-15:35 休憩）

15:35-16:05 S7. SIP-I 成果報告 資源探査技術  
久保田 隆二（海洋調査協会／川崎地質株式会社）

16:05-16:35 S8. SIP-I 成果報告 環境影響評価技術  
後藤 浩一（海洋調査協会／株式会社環境総合テクノス）

16:35-17:00 総合討論

17:00-19:00 イブニングセッション（東京海洋大学越中島キャンパス マリンカフェ）

5 月 31 日（金） 9:50 - 16:45

一般講演

9:50-11:10 システム・機器開発 座長 千賀 康弘（東海大）

A1. ヘディング制御を可能にするスラスタシステムの開発

☆加藤 哲・川村 大和（海洋大 大学院）・田原 淳一郎（海洋大 学術研究院）・馬場尚一郎（JAMSTEC）

A2. サーフボードを用いた  $\mu$ -ASV 基礎システムの開発

☆川村大和・加藤 哲（海洋大 大学院）・田原 淳一郎（海洋大 学術研究院）

A3. 海洋調査を目的とした無人観測船の開発

○馬場尚一郎・古山 裕喜・門馬 大和（JAMSTEC）・田原 淳一郎（海洋大 学術研究院）・松崎 康治（ウィンディーネットワーク）・宮本 賢治・眞田 幸尚（日本原子力研究開発機構）

A4. 海洋ロボットを使えるモノにするための一考察

○吉田 弘 (JAMSTEC)

11:20-12:00 総会・学会賞表彰

(12:00-13:10 休憩)

13:10-13:40 ポスターセッション

---

P1. 浚渫土砂中の微細藻類に対する製鋼スラグを用いた発生抑制の検討

奥村 真子・三木 理・渡部 達也 (金沢大)

P2. 簡易水温データブイの開発

北澤 裕司・横尾 洋・太田 純吾・新垣 直仁 (日油技研工業)

P3. 宍道湖ヤマトシジミ統合モデル構築について

畑 恭子 (いであ)・内田浩・清川 智之 (島根県内水面研究所)・石川 泰助 (いであ))

13:40-15:00 評価手法開発

座長 秋葉 龍郎 (産総研)

---

A5. 深海洋 8K スーパーハイビジョンカメラ海域評価試験

○石橋 正二郎・田中 聖隆・中條 秀彦 (JAMSTEC)・三橋 政次・古澤 大樹 (NHK)

A6. 風波水槽での吹送距離延長のための気流ループ法の確立

ー気流・波ハイブリッドループ法に向けてー

☆上村 友祐 (近大大学院総合理工)・高垣 直尚 (兵庫県大)・鈴木 直哉 (近大)

A7. GCOM-C/SGLI「しきさい」のデータ処理とその結果

○虎谷 充浩 (東海大情報技術センター)・緒方 一紀 (JAXA/EORC)

A8. 低周波電磁波を使った氷上ー海中の通信評価

○佐藤 良・吉田 弘 (JAMSTEC 北極環境変動総合研究センター)

(15:00-15:10 休憩)

15:10-16:30 環境・生物生態

座長 畑 恭子 (いであ)

---

A9. 東京湾に流入する化学物質負荷量の実態調査

ー多摩川におけるビスフェノール A を対象としてー

☆田井 梨絵 (サイエンスアンドテクノロジー)・亭島 博彦 (日本海洋生物研究所)・石川 百合子 (産総研)

A10. カイアシ類 *Oithona davisae* の摂餌率の直接観察

○秋葉 龍郎 (産総研)・田中 祐志 (海洋大)

A11. 海産枝角類の微細鉛直分布 ー水柱の成層構造との関係ー

相原 沙紀 (海洋大)・伊東 宏 (水土舎)・○田中 祐志 (海洋大)

A12. Self-Attention を用いた赤潮発生要因の理由づけ

☆阿部 真己・畑 恭子 (いであ)

16:35-16:40 ベストプレゼンテーション賞表彰(☆発表者が対象者)

16:40-16:45 閉会